

1988～89年

年次報告

昭和63～平成1年度



横浜緑ロータリークラブ

**ロータリーに活力を—
あなたの活力を**
PUT LIFE INTO LOTARY—YOUR LIFE

1988～89年RI会長
ロイス・アビー

第259地区ガバナー **谷口 栄**

会長方針 **明るく、愉しく・心と行動**

代々木 和 男

目 次

会 長 報 告	1
幹 事 報 告	2
クラブ奉仕担当理事報告	6
出席委員会報告	6
職業分類委員会報告	9
親睦活動委員会報告	10
雑誌委員会報告	11
会報委員会報告	11
会員選考委員会報告	12
会員増強委員会報告	12
プログラム委員会報告	13
ロータリー情報委員会報告	16
広報委員会報告	16
S・A・A報告	17
社会奉仕委員会報告	17
青少年委員会報告	18
インターアクト委員会報告	19
ローターアクト委員会報告	19
職業奉仕委員会報告	20
国際奉仕委員会報告	20
世界社会奉仕委員会報告	21
ロータリー財団委員会報告	22
米山奨学委員会報告	24
会 計 報 告	26
横浜緑ロータリークラブ組織表	30
備 品 目 録	31
充填・未充填職業分類表	32

会 長 報 告

会 長 代々木 和 男

理事、役員をはじめ会員の皆さま、御指導、御協力ありがとうございました。厚く御礼申し上げます。

私は常日頃よりロータリーの活力は楽しいロータリーライフから生まれるものと信じています。そこで本年度は、より一層地域に理解されるわかりやすいロータリー、地域に密着できる楽しいロータリー活動を推進すべく出発致しました。会長方針も明瞭に、例会は明るく愉しく、奉仕は心のこもった行動―――を期待して

『明るく、愉しく・心と行動』を掲げました。そしてR I会長ロイス・アビーの「ロータリーに活力を一 あなたの活力を」を勧奨して参りました。そして各委員会の皆さんの活動は、各委員長報告のとおり着実に実績を挙げて頂きました。心から感謝申し上げます。

さて、本年度の奉仕活動で特筆すべきことは地域におきましては、横浜市政100周年、緑区制20周年ということでいろいろなイベントがありました。その中で横浜博への協力、鶴見川夏のフェスティバル参加等の実績はクラブ広報に以前になかった形で、なかなかの効果がありました。「ロータリーは言葉があって、行動がない」といった単純な誤解を一掃したといっても過言ではないと思います。又、クラブ内では創立20年記念事業を鶴川実行委員長を中心に会員全員協力して盛大に挙行し、その内容において大成功裡に終了することが出来ました。会員の皆さまのそれぞれの立場での積極的な御尽力と御協力の結果であると高く評価されるものと信じます。誠に御苦労さまでした。

尚、前期から懸案であった例会場変更の件はいろいろ大変でしたが一応の結論におちつきました。よかったと思っております。

以上、節目の年、変革の年の年度を無事終了することが出来ましたことを感謝申し上げ報告と致します。

幹 事 報 告

幹 事 遠 藤 真 作

副幹事 近 藤 襄

クラブの概況

名 称 横浜緑ロータリークラブ

地 域 横浜市緑区 人 口 418,784人

世帯数 146,741世帯(6.30現在)

事 務 所 横浜市緑区中山町230 横浜銀行中山支店内

例 会 場 同 上

例 会 日 毎週水曜日 12:30～13:30

創 立 昭和45年2月28日 (スポンサークラブ 横浜港北RC)

昭和45年3月11日 RIの正式加盟承認

特別代表 山 崎 知 一

昭和45年12月13日 認証状伝達式 4クラブ合同

(於 横浜市文化体育館)

昭和53年5月27日 横浜田園RC創立総会

於 三井銀行青葉台支店

(移籍会員4名)

昭和52年11月23日 桐蔭学園高校インターアクトクラブ

認証状伝達式挙行(於 桐蔭学園)

昭和55年11月23日 桐蔭学園高専ロータリーアクトクラブ

創立総会(於 桐蔭学園)

昭和59年3月27日 横浜たまRC創立総会

於 和光証券(移籍会員5名)

付 記 所属地区は頭初第359地区、昭和49年7月第359地区より山梨県・静岡県を区域とする第362地区が分割され、当地区は神奈川県1県となりました。

昭和52年7月よりRIの地区変更により第259地区となりました。

1. 会 員 (6月30日現在)

(1) 会員の種類

正 会 員 28 名

シニア・アクティブ会員 19 名

計 47 名 (内 チャーターメンバー 6名)

(2) 年 令

30才台～	0	最高年齢	80才
40才台～	7名	最低年齢	41才
50才台～	21名	平 均	58才
60才台～	14名		
70才以上	5名		

現会員で当クラブ会員としての在籍数

1 年未 滿	2 名	平 均 約 8.9 年
1 ～ 3 年	1 4 名	
4 ～ 6 年	4 名	
7 ～ 9 年	6 名	
10 年 以 上	2 1 名	

2. 例会来客数

例会数 49回

[illegible]

月	例 会 数	来 客 数	月	例 会 数	来 客 数
7	4	6(3)	2	4	5(2)
8	5	11(1)	3	5	5(0)
9	4	10(6)	4	4	9(1)
10	4	2(2)	5	4	10(5)
11	4	19(12)	6	4	10(2)
12	4	27(27)			
1	3	1(0)	計	49	115(61)

一例会平均 2 名強

()内はゲスト数

〔入会者〕

佐藤敬治君	昭和63年10月5日	地方銀行
松田税君	平成1年5月10日	石油製品

〔退会者〕

岩本正三君	昭和63年7月11日	逝去 シニア歯科医
長沼忠郷君	昭和63年8月10日	転 勤
横尾裕生君	昭和63年8月10日	転 勤
中村彰宏君	昭和63年12月28日	一身上の都合
古谷英太郎君	昭和63年12月28日	病氣高令の為
岩岡正君	平成1年1月18日	職務繁忙
真野滋夫君	平成1年1月18日	転 勤
和田功君	平成1年6月28日	職務繁忙

〔歴代会長・幹事及会員数，出席率〕

	会 長	幹 事	就任時 在籍会員数	年 間 出 席 率	備 考
創 立 時	石 川 治 道	柴 田 清	24名	92.86%	45年6月迄
45～46	石 川 治 道	柴 田 清	24名	98.58%	
46～47	(秋 田 茂)	三 沢 君 夫	41名	98.09%	
47～48	小 林 安 雄	(高 橋 正 文)	40名	94.29%	
48～49	加 藤 雅 光	名 倉 健 二	37名	98.40%	
49～50	鵜 川 昇	山 下 栄 蔵	39名	97.67%	
50～51	名 倉 健 二	武 藤 松 一	42名	97.38%	
51～52	中 山 恒三郎	岩 沢 幸 男	47名	98.60%	
52～53	三 沢 君 夫	岡 本 健	48名	98.82%	
53～54	森 善 助	(浜 田 勝 弥)	47名	98.57%	
54～55	山 下 栄 蔵	戸 田 裕 也	50名	98.74%	
55～56	岡 本 健	代々木 和 男	45名	99.33%	
56～57	岩 沢 幸 男	中 林 靖	50名	99.18%	
57～58	田 辺 政 雄	内 野 晃	48名	99.11%	
58～59	武 藤 松 一	渡 辺 武	50名	97.86%	
59～60	戸 田 裕 也	寺 崎 誠 三	45名	96.31%	
60～61	田 沼 文 衛	岩 岡 正	45名	96.27%	
61～62	中 林 靖	赤 柄 忠 昭	50名	97.83%	
62～63	内 野 晃	藪 島 五 郎	51名	96.96%	
63～64 (平成1)	代々木 和 男	遠 藤 真 作	53名		

〔チャーターメンバー〕 現会員 7名

秋 田 茂	55. 2. 20 死去	足 立 英 一	46. 9. 1 退会
石 川 治 道	52. 6. 30 退会	麻 生 和 衛	54. 12. 26 退会
岩 崎 董 正	57. 6. 30 退会	藤 森 茂	47. 4. 5 退会
小 林 安 雄		浜 田 淳太郎	48. 1. 31 退会
小 峰 政 博	48. 10. 20 退会 相模原南R Cへ	細 辻 文 次	47. 6. 28 退会
中 山 恒三郎	60. 4. 24 退会	岩 本 正 三	63. 7. 11 死去
柴 田 清	48. 4. 4 退会	松 田 三 郎	47. 6. 7 退会
鈴 木 憲 一	54. 9. 1 死去	三 橋 英 一	
土志田 昭 吉	54. 8. 29 退会	名 倉 健 二	
岡 本 健		富 永 力	
志 田 宝	47. 1. 29 退会	鵜 川 昇	
高 橋 正 文	50. 6. 26 退会	吉 田 晴太郎	48. 5. 2 退会

〔本年度地区委員〕

鵜 川 昇 君	1990～91 年度ガバナーノミニー オンツーソウル国際大会委員長
三 沢 君 夫 君	オンツーソウル国際大会委員 ポリオプラス委員会委員
名 倉 健 二 君	職業奉仕委員会委員
戸 田 裕 也 君	米山奨学金増進委員会委員長

クラブ奉仕担当理事報告

担当理事 薮 島 五 郎

四大奉仕の中でクラブ奉仕委員会は、当クラブに於いても10の委員会に分類、構成されておりますが、各委員会がそれぞれの計画に基づき活動を行ってきました。

プログラムをより一層充実させることにより例会の活性化を図ることが出来たものと思っております。また、親睦活動を通じて健全な運営とロータリーの基本理念の理解を求めるよう努力致しました。

出席委員会報告

委員長 小 杉 隆

副委員長 田 中 克 己

委 員 飯 田 重 雄

〃 八 木 節 夫

1. ロータリーの持つ価値の発見と楽しさが出席率のUPを促すものである事を強調し、ロータリーのあるべき姿を求めて参りました。
2. 個人別の出席状況を分析し、その事情を把握しつつ出席率向上に努めて参りました。
3. 当年次ホームクラブ出席100%を達成した中畑会員に敬意を表し記念品を贈呈しました。

1988～89（昭和63～平成元年度）

	1	2	3	4	5
1988	例 会 日 付	会 員 総 数 (名譽会員) を 除 く	出席計算に用 いた会員数	出席または マークアップ した会員数	百 分 率
7 月	6	53	42	41	97.62
	13	52	42	39	92.86
	20	52	42	41	97.62
	27	52	42	40	95.24
				合 計	383.34
				平均百分率	95.84
8 月	3	52	41	40	97.56
	10	52	41	40	97.56
	17	50	41	35	85.37
	24	50	41	40	97.56
	31	50	41	37	90.24
				合 計	468.29
				平均百分率	93.66
9 月	7	50	41	40	97.56
	14	50	41	39	95.12
	21	50	41	36	87.80
	28	50	41	40	97.56
				合 計	378.04
				平均百分率	94.51
10 月	5	51	42	42	100
	12	51	42	42	100
	19	51	42	42	100
	26	51	42	41	97.62
				合 計	397.62
				平均百分率	99.41
11 月	3	51	41	37	90.24
	9	51	41	39	95.12
	16	51	41	39	95.12
	23 休				
	30	51	40	39	97.50
				合 計	377.98
				平均百分率	94.49
12 月	7	51	40	38	95.00
	14	51	40	38	95.00
	21	51	40	39	97.50
	28	51	40	40	100
				合 計	387.50
				平均百分率	96.88

	1	2	3	4	5
1989	例 会 日 付	会 員 総 数 (名誉会員 を 除 く)	出席計算に用 いた会員数	出席または メークアップ した会員数	百 分 率
1 月	4				
	11	49	39	36	92.31
	18	49	38	35	92.11
	25	47	38	37	97.37
				合 計	281.79
				平均百分率	93.93
2 月	1	47	38	38	100
	8	47	38	38	100
	15	47	38	36	94.74
	22	47	38	36	94.74
				合 計	389.48
				平均百分率	97.37
3 月	1	47	38	35	92.11
	8	47	38	35	92.11
	15	47	38	37	97.37
	22	47	38	35	92.11
	29	47	38	38	100
				合 計	473.70
				平均百分率	94.74
4 月	5	47	39	38	97.44
	12	47	39	37	96.61
	19	47	39	36	92.31
	26	47	38	37	97.37
				合 計	383.73
				平均百分率	95.93
5 月	3 休				
	10	48	38	36	94.74
	17	48	38	37	97.37
	24	48	38	35	92.11
	31	48	38	38	100
				合 計	385.22
				平均百分率	96.31
6 月	7	48	38	34	89.49
	14	48	37	35	94.59
	21	48	37	37	100
	28	48	37	35	94.59
				合 計	378.67
				平均百分率	94.67

年間平均 95.65%

本年度個人100%出席者並びに連続100%の会員は下記の通りです。

○…本年度 100%

◎…ホームクラブ 100%

数字は連続年数

	前年度迄	本 年	計		前年度迄	本 年	計
赤 柄	11	○	12	城 田	1	○	2
遠 藤		○	1	高 嶋	2	○	3
飯 田 (重)		○	1	田 中	2	○	3
飯 塚	5	○	6	戸 田	16	○	17
金 子	入会以来○	○	1	内 野	1	○	2
近 藤	4	○	5	鵜 川	18	○	19
小 杉	2	○	3	渡 辺		○	1
三 沢	14	○	15	山 下	2	○	3
名 倉		○	1	代々木		○	1
中 林	15	○	16	佐 藤	10/5 入会	○	入会以来
中 畑	7	◎	8	松 田	5/10 入会	○	入会以来
斉 藤	2	○	3				

職 業 分 類 委 員 会 報 告

委 員 長 飯 塚 金次郎

副委員長 ②土志田 猛

委 員 (③岩岡 正)

// 岡 本 健

当クラブの職業分類一覧表を分析し、当地区の現状に合致した分類表を作成し、関連委員会が会員増強を推進しやすいよう努力し活動してまいりました。

親睦活動委員会報告

委員長 中 畑 龍 二
副委員長 二 宮 浩
委 員 田 沼 文 衛 飯 田 三 郎 高 嶋 経 保
田 中 克 己 矢 島 誠 治 日 高 信 良
高 橋 義 弘 金 子 朝 夫 飯 田 重 雄
(中 村 彰 宏) 松 田 税

会員間の知り合いと友情を増進し、ロータリーの奉仕、レクリエーションおよび社交的行事への会員の参加を奨励するよう努力しました。

皆様の御協力ありがとうございました。

1年間の親睦活動は次の通りです。

1. 夜 間 例 会

63. 8. 31	浜太郎(鴨居)	出席者	会員 33名,
63. 11. 30	新横浜国際ホテル(新横浜)	出席者	会員 36名, 夫人 12名
平成元年 3. 29	4月1日の20年記念事業式典の為中止		
平成元年 5. 31	華正楼(横浜中華街)	出席者	会員 26名,

2. 家族会の開催

夫人の会と共催で夜間例会, 期末懇親会, クリスマス家族会に御家族ともども出席していただいた。

3. クリスマス家族会の開催

63. 12. 21 会場: ザ. ホテルヨコハマ(横浜市中区)
出席者 会員 35名 夫人 10名 家族 8名
留学生 11名

4. 期末懇親会の開催

平成元年 6. 21 ~ 6. 22 会場: 日光石亭
日光観光, ゴルフ会 出席者 会員 21名 夫人 10名

5. 同 好 会

ゴルフ, テニス, 囲碁, 麻雀, グルメの会などを開催して親睦を深めました。

6. 国際奉仕委員会と協力して留学生をクリスマス家族会に招待し国際親善につとめました。

雑誌委員会報告

委員長 田中克己
副委員長 金子朝夫
委員 (古谷英太郎)
〃 日高信良

「ロータリーの友」誌を如何にすれば、一人でも、一頁でも多くの会員に読んで貰うか？ と云うテーマを最優先として活動した。

第一段階として「ロータリーの友」誌の内容を分類説明をなし、本年度は委員長は毎月会員より一週間前に「ロータリーの友」誌を入手、精読し会員配布日の例会に於いて約5分間その内容の概略及び必読箇所を紹介指摘する事を実行した。

反省事項として、年間通して委員長一人で毎月紹介する場合、その個性によっては偏見的に走り易く、出来れば毎月別々の人に依頼した方がベターではなかったかと考えられる。

言うは易く行ふは難し、とは申せ読後の感想としては、読めば必ず何かを得る。ロータリーをより理解する最良最短の方法であると確信致しました。

会員各位の継続を期待致します。

会報委員会報告

委員長 (真野滋夫)
副委員長 飯田重雄
委員 島田幸夫
〃 小林新一

1. 編集は委員会全員の協力により行ふよう努めました。
2. プログラム委員会と連絡をとり、1ヶ月先までの予定を記載するようにいたしました。
3. 定期的な記事は漏さず掲載するよう努めました。
4. 委員会活動の予告を掲載して会員の参加を呼びかけました。
5. 近隣クラブと会報の交換を実施し、情報の収集を図りました。
6. 会報を会員の発言の場として利用していただけるよう心掛けました。

会員選考委員会報告

委員長 森 善 助
副委員長 名 倉 健 二
委 員 中 林 靖
" 小 林 安 雄

1. 会員選考にあたり、その手続きを十二分に踏んで選考にあたり推薦者の皆様に感謝いたします。
2. 年度始会員数より年度末には6名の減となり誠に残念ですが、転勤移動によるやむを得ない退会もあります、各人の事情で退会も考えられます。選考にあたり十分考慮すべきと思います。

会員増強委員会報告

委員長 三 澤 君 夫
副委員長 中 畑 龍 二
委 員 代々木 和 男
" 戸 田 裕 也

年度当初、ロータリーに活力を — あなたの活力を — を前提に新会員5名の増強を目標に掲げ努力致しましたが、入会者は2名にとどまり目標を達成する事が出来ず残念です。

また、退会者の防止に努めましたが転勤移動等も含め8名の退会者を出す結果となり、実質6名減となってしまいました。

プログラム委員会報告

委員長 横井好明

副委員長 渡辺宏未

委員 土志田 猛

〃 名倉健二

人智のたゆみない追求による諸科学の発達に高度経済社会を育て、毎日の生活様式に沢山の恵みを受けながら今世紀末を迎えて居りますが、今何故か古を懐しがり、未来を憂う心がどこかに住んでいるようです。

そんな日々にあって、本期のプログラムを終わってみましたら、古き、新しき、を問わず“今”問われる想としての心の問題、次代を嗣ぐ子等への考察、自然実態の中における人間体の考察による未来への展望等、随分と実のある卓話を流れに乗せて頂けたような気が致します。

偏へに諸先輩会員の巾広い普段のご交際、そして、そのための毎日の生活の中でのご配慮等によるものと深く感謝致します。

有難うございました。

(1 / 8 平成元年)

1988～89 年度 (昭和 63～64 年度)

水曜日例会

	クラブアッセンブリー			クラブアッセンブリー	クラブアッセンブリー	
	7	8	9	10	11	12
第一週	6日 就任挨拶 会長・幹事	3日 フォーラム 職業奉仕 岩岡委員長	7日 青少年活動月間 渡辺委員長	5日 米山月間 富永委員長	2日 ガバナー 公式訪問	7日 クラブ年次例会
第二週	13日 新年度計画 四大奉仕 委員長	10日 フォーラム 国際奉仕 高嶋委員長	14日 卓 話 体の痛みに ついて 二宮会員	12日 卓 話 工業の 歩んだ道 山下会員	9日 ロータリー 財団月間 内野委員長	14日 フォーラム クラブ運営の 在り方について 三沢会員
第三週	20日 フォーラム クラブ奉仕 委員長	17日 フォーラム ローターアクト 斉藤委員長	21日 卓 話 旅のあじわい 赤柄会員	19日 職業奉仕 新方針 名倉会員	16日 卓 話 日本の茶室 小杉会員	21日 クリスマス 家族会
第四週	27日 フォーラム 社会奉仕 幸内委員長 定例理事会	24日 卓 話 仏教と経営 (株)ロンデックス 岩間社長 定例理事会	28日 卓 話 青少年の現況と 健全育成の考察 吉田ボーイスカ ウト団長 定例理事会	26日 卓 話 ポスト④対策 三井B本店 定例理事会	23日 休	28日 前半を省りみて 会長・幹事 定例理事会
第五週		31日 夜間例会			30日 夜間例会 定例理事会	
年間行事			青少年活動月間	米山月間 職業奉仕月間	R財団月間	

横浜緑 R C 年間プログラム表

		クラブアッセンブリー		クラブアッセンブリー		クラブアッセンブリー
	1	2	3	4	5	6
第一週	4日 年始 休	1日 世界理解月間	1日 ポリオプラス月間 近藤委員長	5日 クラブ20周年を かえりみて 鵜川会員	3日 休	6日(火) 職業報告 横浜博会場内 にて例会
第二週	11日 新年の挨拶	8日 消費税について 税理士会々長 渡辺 武会長	8日 工場見学 田村電機(株) 相模原工場	12日 雑誌月間 田中会員	10日 卓 話 毛髪の話 (株)資生堂 柳研究部長	14日 1年をかえりみて 四大奉仕 委員長
第三週	18日 職業報告 横浜銀行 中山支店長 佐藤会員	15日 フォーラム 国際奉仕 委員長	15日 卓 話 通信事業の 将来 高橋会員	19日 フォーラム クラブ奉仕 委員長	17日 卓 話 気象の話 宮沢清治氏	21日 期末懇親会 (日光 石亭)
第四週	25日 卓 話 これからの 工業 岡本会員 定例理事会	22日 ロータリー 創立記念 鵜川会員 定例理事会	22日 卓 話 インド八大 仏蹟紀行 森(善)会員 定例理事会	26日 卓 話 レコードは どう変わる 日本コロンビア(株) 田中録音部長 定例理事会	24日 ソウル国際大会 報告 三沢会員 定例理事会	28日 今期終了挨拶 会長・幹事 定例理事会
第五週			29日 夜間例会		31日 夜間例会	
年間行事	R 理解推進 月間	R 創立記念日 (23日) 世界理解月間 クラブ創立記念日	ポリオプラス月間 正式加盟(11日)	雑誌月間 クラブ20周年 記念(4/1)	国際大会	

ロータリー情報委員会報告

委員長 中 林 靖
副委員長 内 野 晃②
委 員 代々木 和 男③
" 好 井 良 雄

- 1) 会員特に新会員のためにロータリー用語の説明
パンフレット及ロータリー略年表を作成し理解を深めて貰う様に努力した。
- 2) 年6回以上 毎月1回例会後に30～1時間 新会員とその時々(特に翌月の行事に関係あるもの等)のR情報について話合った。
- 3) RIの活動, 運営の動向についての情報の提供は, 会長報告, 雑誌等によるもの以外あまり提供出来なかった。
- 4) 会員候補者にロータリーを理解して貰うため, R用語及び年表を今後とも利用して欲しいと思う。

広報委員会報告

委員長 城 田 昭 次
副委員長 八 木 節 夫
委 員 長 瀬 正 作

ロータリーの広報は地域社会の方々にロータリー活動を理解して頂くため, 会員ひとりひとりが職業を通じ, ロータリーの基本の四つのテストを, (1)真実かどうか (2)みんなに公平か (3)好意と友情を深めるか (4)みんなのためになるかどうか を掲げ, 地域住民に密着した行事, 又クラブの四大奉仕の中の社会奉仕活動に参加。本年は緑区20周年に当たりますので, 緑区として夏, 秋, 冬, 春とイベントを開催する通知を頂きましたので, 夏のイベントに参加。秋, 冬と予定しておりましたが, 昭和天皇陛下の御体が悪くなりましたので中止致しましたので, 実行出来ませんでした。

緑ロータリークラブのバザーに参加して広報活動をして頂きました。

S. A. A. 報 告

委 員 長	加 藤 勇 夫
副委員長	城 田 昭 次
〃	二 宮 浩
〃	高 嶋 経 保

1. 卓話台の上に毎回生花を飾りました。
1. 委員長報告を多々とりいれるよう努力しました。
1. 卓話中は私語を慎んでもらいました。
1. 例年通り例会中を禁煙としました。

「楽しいクラブ」を作ることに努力しましたがなかなか思うように出来ず反省しています。

欠席者も多く、当初の報告どおり面白くない、つまらない例会があったためと申し訳なく思っています。

社会奉仕委員会報告

委 員 長	幸 内 伸 雄
副委員長	飯 田 重 雄
委 員	小 林 敬

1. 8月20日～21日の2日間 緑区政20周年イベントへの参加 鴨居河原にて
焼そば 2800食、ポップコーン 1,000袋を作り販売、参加会員延58名 家族16名、売上げの中から10万円を、緑区肢体不自由児(者)父母の会へ寄贈。その模様は「朝日エコー」に掲載されました。
- 2 8月22日～23日 緑区肢体不自由児(者)父母の会研修旅行に会員医師、会員、看護婦が参加、起居を共にした。
3. NHK厚生文化事業団 ～ 10万円寄贈
4. カラーサインペン 1,000組を地域授産場、施設等広く配布した。 255,000円
5. 会員から2,000円ずつの寄金を募り、障害者施設より作品を買い上げ、会員の持参品と共にバザーを行った。

6. バザー売上げ金から20万円を「緑区社会福祉協議会」を通じて横浜市精神障害者家族連合会地域作業所「あしたば工芸」の藤尾 誠 指導員を例会場に招き寄贈した。

以上行々に当り会員及御夫人方には大変御協力を戴き誠に有難うございました。

青少年委員会報告

委員長 渡辺 宏 未

委員 森 善 助

〃 横井 好 明

複雑化していく社会機構の中、青少年達を正しい生活を営むよう指導することは難しいことであるが、親として、大人として大きな責任の一つである。

青少年と日本の将来を考え、ロータリアンとして青少年に接し、その種の団体を支援し援助することを最大の活動方針として、次のような活動をおこなった。

1. 地元少年野球チームに対する接触と援助

緑区少年野球連盟の試球式に参加すること2回

1. 地元ボーイスカウトとの交流

9月青少年月間にちなみ、ボーイスカウト団長を例会に接待、活動と組織について卓話してもらい、相互活動について話しあった。

1. 交換学生について

1. ロータリー青少年指導者養成セミナーについて

徳江 正 光 25才

1. ロータリアンのローターアクト、インターアクトクラブへの積極的参加を行った。

インターアクト委員会報告

委員長 赤 柄 忠 昭
副委員長 鵜 川 昇
委 員 中 林 靖

学校または地域社会奉仕と国際理解の増進を目標とし、努力してまいりました。

1. 桐蔭学園インターアクトクラブの活動に対する協力
 - 1) 毎月第一、第三月曜日の例会に出席
 - 2) 例会時に会長、幹事、各委員長の出席を戴き、卓話をしていただきました。
 - 3) 昭和63年11月20日(日) 横浜商大高校にて開催の259地区インターアクトクラブ年次大会に出席。
 - 4) 桐蔭学園インターアクトクラブの会員よりポリオプラス寄付金のご協力をしていただきました。
2. 中里学園に対する慰問
3. 地域のボーイスカウトに対する活動の協力

ローターアクト委員会報告

委員長 齊 藤 宏 一
副委員長 二 宮 浩
" 田 島 幸 夫
委 員 日 高 信 良
" 富 永 力

- 1) ローターアクト例会に常に2名以上のロータリアンの出席
- 2) アジア第一、第三ゾーン ローターアクト研修会、地区大会、地区協議会等各種の大会のオブザーバーとしての出席の励行
- 3) 中里学園夏のキャンプには渡辺宏未会員による小型バスの貸与及びペンライト、音の出るヨーヨー等玩具の援助
- 4) 例会に於るロータリアンの卓話としては、特に学窓を出て社会に営立つ者のための話を中心に心掛けました。

決 算 2 2 3, 5 0 0 円

職業奉仕委員会報告

委員長 飯塚 金次郎
" (岩岡 正)

職業奉仕委員会では、この一年間、当初の事業計画に基づき、田村電機相模原工場見学会を横井会員の協力のもとに実施できました。職業奉仕委員会は何をすれば良いのかわからないまま一年間過ぎた様に思います。つかみ処のない、ロータリーの職業奉仕、辞書によれば

職業とは — 暮らしを立てる為に日常従事している仕事

奉仕とは — 国家社会の為に私心を捨てて社会に尽くす事

私なりに解釈したロータリーの職業奉仕とは、

1. 会員各々が、自分の会社を健全発展させる。
2. 例会の場等で自分の職業上の事で他人の参考になる事を考えてやる。
3. 職場見学（代表者の実践話も聞く）
4. 例会 — 異業種の集合体の為、全員が御客様のはず、客の要点を聞き、自己研鑽し、今後の経営の参考にする。

等であると考えました。

四大奉仕委員会の中でもっとも遅れている当委員会であるが、現在の社会情勢からしても、RCの発展の為にも、今後一番脚光をあびる委員会だと思います。

国際奉仕委員会報告

委員長 高嶋 経保
副委員長 山下 栄蔵

本年度初め急に国際奉仕委員長を命ぜられ、何ら心の準備もないまま引き受けましたが不勉強のため、新しい奉仕活動も出来ず、期末をむかえました。

数少ない国際奉仕活動の経過を報告致します。

1. 1988年12月21日(水) 新横浜国際ホテルのクリスマス家族会に、東京工業大学の留学生他12名を招きました。この留学生招待は、ここ何年か続けて行なっていますが、希望者が多く学校で人選をしていただいているようです。予算等ゆるせば多数の留学生を呼べて喜ばれると思います。

2. 1988年12月2日(金)「スリランカ民族舞踊の夕べ」に会員他5名で出席しました。

これはスリランカの留学生の奨学金捻出のためと、今後の後援会への依頼でもありましたが、当クラブで具体的な検討も出来ないうえ、今日に至りました。

3. 1988年12月第259地区ガバナーよりアルメニア地震の義捐金の依頼があり、会員よりの義捐金とクラブの予算からの合計50,000円を義捐金として送りました。

以上報告致しましたが、ガバナー公式訪問報告とはかなりのへだたりがあり、委員会としての責任を痛感しているところです。

世界社会奉仕委員会報告

委員長 上 林 正 勝

副委員長 (真 野 滋 夫)

委 員 小 林 敬

国際間の平和を求め、他国の人々との交流を図り相互理解を深めることができるよう努力いたしました。

また、国際奉仕委員会とも緊密に連絡をとり世界社会奉仕に努めてまいりました。

ロータリー財団委員会報告

委員長 内 野 晃

副委員長 高 嶋 経 保

委 員 三 橋 英 一 小 林 安 雄

〃 金 子 朝 夫

1. 世界有数の民間教育団体である、国際ロータリーのロータリー財団の活動を広報し、財団プログラムに対するクラブレベルの支援を奨励した。
2. ボールハリスフェロー及びボールハリス準フェローに1人でも多くなって貰うよう努力した。

◎ボールハリスフェロー

現 会 員 (敬称略)

- | | | |
|------------|-------------|-------------|
| 1. 赤 柄 忠 昭 | 10. 森 善 助 | 19. 富 永 力 |
| 2. 土志田 猛 | 11. 長 瀬 正 作 | 20. 内 野 晃 |
| 3. 遠 藤 真 作 | 12. 名 倉 健 二 | 21. 鷗 川 昇 |
| 4. 加 藤 勇 夫 | 13. 中 林 靖 | 22. 渡 辺 宏 未 |
| 5. 小 林 安 雄 | 14. 岡 本 健 | 23. 薮 島 五 郎 |
| 6. 幸 内 伸 雄 | 15. 城 田 昭 次 | 24. 矢 島 誠 治 |
| 7. 近 藤 襄 | 16. 田 沼 文 衛 | 25. 山 下 栄 蔵 |
| 8. 三 沢 君 夫 | 17. 寺 崎 誠 三 | 26. 好 井 良 雄 |
| 9. 三 橋 英 一 | 18. 戸 田 裕 也 | 27. 代々木 和 男 |

元 会 員

- | | | |
|--------------|---------------|---------------|
| 1. 土志田 昭 吉 殿 | 6. 山 口 吉 蔵 殿 | 11. 中 山 恒三郎 殿 |
| 2. 黒 沢 保 殿 | 7. 浜 田 勝 弥 殿 | 12. 古 谷 英太郎 殿 |
| 3. 高 橋 正 文 殿 | 8. 岩 崎 董 正 殿 | 13. 岩 岡 正 殿 |
| 4. 武 藤 松 一 殿 | 9. 鈴 木 憲 一 殿 | 14. 中 村 彰 宏 殿 |
| 5. 石 川 治 道 殿 | 10. 田 辺 政 雄 殿 | 15. 和 田 功 殿 |

会 員 外

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. 武 藤 勝 典 殿 | 5. 森 玉 江 殿 |
| 2. 武 藤 義 一 殿 | 6. 田 辺 しげ子 殿 |
| 3. 武 藤 泰 典 殿 | 7. 中 山 礼 子 殿 |
| 4. 武 藤 純 子 殿 | 8. 小 林 ハマ子 殿 |

◎準フエロー（敬称略）

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1. 日 高 信 良 | 10. 中 畑 龍 二 |
| 2. 飯 田 重 雄 | 11. 二 宮 浩 |
| 3. 飯 塚 金次郎 | 12. 斉 藤 宏 一 |
| 4. 上 林 正 勝 | 13. 島 田 幸 夫 |
| 5. 小 林 新 一 | 14. 高 嶋 経 保 |
| 6. 小 林 敬 | 15. 田 中 克 己 |
| 7. 小 杉 隆 | 16. 横 井 好 明 |
| 8. 三 沢 君 夫 （2回目） | 17. 代々木 和 男 （2回目） |
| 9. 森 善 助 （2回目） | |

会 員 外

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1. 岩 岡 明 子 殿 | 6. 中 林 順 子 殿 |
| 2. 長 瀬 す み 殿 | 7. 遠 藤 ト キ 殿 |
| 3. 戸 田 堯 子 殿 | 8. 岡 本 ト モ エ 殿 |
| 4. 富 永 み や 殿 | 9. 内 野 暢 子 殿 |
| 5. 寺 崎 き つ え 殿 | 10. 山 下 百 合 子 殿 |

1988～89年R財団累計	9 3 1 0 6	ドル
内本年分	1 5 4 2 0	ドル
ポリオ	4 0 6 1	ドル（52万円）
純財団	1 1 3 5 9	ドル
1人当	2 3 6.6	ドル

ポリオ累計 1,776,500円
1人当（48人） 37,000円強

米山奨学委員会報告

委員長 富 永 力

副委員長 戸 田 裕 也

委 員 (和 田 功)

10月9日地区大会において、財団法人・米山記念奨学会より米山功労クラブとして表彰されました。

◎米山功労者

1. 小 林 安 雄

3. 森 善 助(2口)

5. 富 永 力

2. 三 沢 君 夫

4. 長 瀬 正 作

6. 内 野 晃

元 会 員

1. 秋 田 茂 殿

3. 田 辺 政 雄 殿

5. 和 田 功 殿

2. 武 藤 松 一 殿

4. 岩 岡 正 殿

◎米山準功労者

1. 赤 柄 忠 昭

14. 近 藤 襄

27. 田 中 克 己

2. 土志田 猛

15. 小 杉 隆

28. 田 沼 文 衛

3. 遠 藤 真 作

16. 三 橋 英 一

29. 寺 崎 誠 三

4. 日 高 信 良

17. 名 倉 健 二

30. 戸 田 裕 也

5. 飯 田 三 郎

18. 中 林 靖

31. 鶴 川 昇

6. 飯 田 重 雄

19. 中 畑 龍 二

32. 渡 辺 宏 未

7. 飯 塚 金次郎

20. 二 宮 浩

33. 薮 島 五 郎

8. 上 林 正 勝

21. 岡 本 健

34. 八 木 節 夫

9. 金 子 朝 夫

22. 斉 藤 宏 一

35. 矢 島 誠 治

10. 加 藤 勇 夫

23. 島 田 英 治

36. 山 下 栄 蔵

11. 小 林 新 一

24. 城 田 昭 次

37. 横 井 好 明

12. 小 林 敬

25. 高 橋 義 弘

38. 好 井 良 雄

* 13. 幸 内 伸 雄

26. 高 嶋 経 保

39. 代々木 和 男

会 員 外

1. 岩 岡 明 子 殿

2. 富 永 み や 殿

3. 小 林 ハマ子 殿

1988～89年度累計

普 2,074,500円

特 10,277,000円

計 12,351,500円

内本年度 普 357,000円

特 2,428,000円

計 2,785,000円

会員1人(普通のみ)当

5,0583円

ポリオプラス委員会報告

委員長 近 藤 襄
副委員長 二 宮 浩
委 員 島 田 幸 雄

ポリオプラスプロジェクトの募金目標額達成にむけ次の活動を実行した。

1. ポリオプラス月間などを通じ、委員長の卓話、フォーラムを行い、募金の意義、募金額の現状、現地での状況などをクラブ会員に伝え、十分な理解を得た。
2. 当クラブの基本的募金方法としての年間1人当り10,000円を全員が完納した。
3. 桐蔭学園インターアクトクラブ生徒さん達より浄財22,542円を募金として頂き、その例会にてポリオプラスについての卓話を行い国際理解の意義を説いた。
4. 6月18日のポリオプラスチャリティーコンサートに協力した。
5. 谷口ガバナーより指示があったクラブ募金累計額が総目標額の80%を今期末までにオーバーした。

会 計 報 告 書

(1988～1989年度)

昭和63年7月～平成1年6月

会 計 佐 藤 英 治

1. 一 般 会 計

〔収入の部〕

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減
年 会 費	7,360,000	7,067,000	
入 会 金	600,000	200,000	
雑 収 入	20,000	837,656	
前 期 繰 越	156,000	150,000	
収 入 合 計	8,130,000	8,254,656	①

〔支出の部〕

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減
本 部 関 係	本 部 資 金	190,000	155,860
	地 区 分 担 金	670,000	683,800
	地区大会分担金	250,000	265,000
	I ・ G ・ F	190,000	196,000
	地 区 協 議 会	120,000	470,000
	米 山 資 金	350,000	357,000
	予 備 費	60,000	0
	合 計	1,830,000	2,127,660
総 務 関 係	例 会 費	200,000	196,966
	記 念 品	406,000	45,900
	通 信 費	140,000	140,254
	消 耗 品	60,000	42,987
	印 刷 費	480,000	501,800
	事 務 委 託 費	1,440,000	1,350,000
	備 品 費	250,000	63,613

科 目		予 算 額	決 算 額	増 減
総務関係	交 際 費	1 2 0,0 0 0	1 8 0,5 0 0	
	雑 誌 文 献	2 0 0,0 0 0	1 6 7,2 7 3	
	慶 弔 費	5 0,0 0 0	7 0,0 0 0	
	雑 費	3 0,0 0 0	7 0,7 2 0	
	予 備 費	1 0 0,0 0 0	0	
	合 計	3,4 7 6,0 0 0	2,8 3 0,0 1 3	③
委員 会 関 係	出 席	1 0,0 0 0	0	
	職 業 分 類	1 0,0 0 0	0	
	親 睦	1,1 0 0,0 0 0	1,5 3 5,8 5 5	
	雑 誌	0	0	
	会 報	1,2 0 0,0 0 0	1,1 4 3,7 3 2	
	会 員 選 考	2 0,0 0 0	0	
	会 員 増 強	1 0,0 0 0	0	
	プ ロ グ ラ ム	2 0 0,0 0 0	1 1 1,0 0 0	
	R 情 報	2 0,0 0 0	6 9,5 0 0	
	S A A	1 0 0,0 0 0	5 2 2,6 5 8	
	広 報	5 0,0 0 0	8 0,9 0 0	
	予 備 費	1 0 4,0 0 0	2 5 0,0 0 0	
	合 計	2,8 2 4,0 0 0	3,7 1 3,6 4 5	④
一 般 会 計 合 計		8,1 3 0,0 0 0	8,6 7 1,3 1 8	①－(②+③+④)

2. 特別会計(食事の部)

〔収入の部〕

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減
年 会 費	2,596,000	2,487,000	
ビ ジ タ ー 登 録 料	80,000	55,500	
雑 収 入	0	19,712	
前 期 繰 越 金	83,524	83,524	
合 計	2,759,524	2,645,736	①

〔支出の部〕

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減
例 会 食 事 費	2,730,000	2,195,608	
予 備 費	29,524	7,200	
合 計	2,759,524	2,267,602	② ①-②

2. 特別会計(奉仕の部)

〔収入の部〕

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減
ス マ イ ル	1,350,000	1,118,000	
雑 収 入	0	0	
前 期 繰 越	150,000	150,000	
合 計	1,500,000	1,268,000	①

〔支出の部〕

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減
職 業 奉 仕	70,000	0	
社 会 奉 仕	450,000	549,249	
青 少 年	80,000	45,000	
イ ン タ ー ア ク ト	200,000	93,300	
ロ ー タ ー ア ク ト	330,000	248,500	
国 際 奉 仕	50,000	212,000	
世 界 社 会 奉 仕	20,000	0	
予 備 費	300,000	0	
合 計	1,500,000	1,148,049	② ①-②

集 計 表

区 分	収 入		支 出	
一 般 会 計	年 会 費	7,067,000	本 部 関 係	2,127,660
	入 会 金	200,000	総 務 関 係	2,830,013
	雑 収 入	837,656	委 員 会 関 係	3,713,645
	繰 越 金	150,000		
	計	8,254,656	計	8,671,318
特 別 会 計	年 会 費	2,487,000	例 会 食 事 費	2,195,608
	ビジター登録料	55,500	予 備 費	72,000
	雑 収 入	19,712		
	繰 越 金	83,524		
	計	2,645,736	計	2,267,608
	ス マ イ ル	1,118,000	奉 仕 関 係	1,148,049
	雑 収 入	0		
	繰 越 金	150,000		
	計	1,268,000	計	1,148,049
	収入合計	12,168,392	支出合計	12,086,975
			次期繰越	81,417

横浜緑ロータリークラブ組織表

1988～1989年度（昭和63年～昭和64年度）

1. 理事 代々木 和 男 薮 島 五 郎 幸 内 伸 雄 渡 辺 宏 未
飯 塚 金次郎 高 島 経 保 山 下 栄 蔵
2. 役員 会 長 代々木 和 男 副 幹 事 近 藤 襄
幹 事 遠 藤 真 作 副 S A A 二 宮 浩
副 会 長 薮 島 五 郎 " " 城 田 昭 次
S A A 加 藤 勇 夫 " " 高 島 経 保
会 計 佐 藤 英 治 副 会 計 薮 島 五 郎
(和 田 功)
3. 委員会 (◎印 委員長 ○印 副委員長)
- A. クラブ奉仕委員会 (担当理事)◎薮 島 五 郎 ○寺 崎 誠 三
- (1) 出 席 委 員 会 ◎小 杉 隆 ○田 中 克 己 飯 田 重 雄 八 木 節 夫
(2) 職 業 分 類 委 員 会 ◎飯塚 金次郎 ○②土志田 猛 (③岩 岡 正) 岡 本 健
(3) 親 睦 委 員 会 ◎中 畑 龍 二 ○二 宮 浩 田 沼 文 衛 飯 田 三 郎
高 嶋 経 保 田 中 克 己 矢 島 誠 治 日 高 信 良
高 橋 義 弘 金 子 朝 夫 飯 田 重 雄 (中 村 彰 宏)
松 田 税
- (4) 雑 誌 委 員 会 ◎田 中 克 己 ○金 子 朝 夫 (古 谷 英 太 郎) 日 高 信 良
(5) 会 報 委 員 会 (◎真 野 滋 夫) ◎飯 田 重 雄 島 田 幸 夫 小 林 新 一
(6) 会 員 選 考 委 員 会 ◎森 善 助 ○名 倉 健 二 中 林 靖 小 林 安 雄
(7) 会 員 増 強 委 員 会 ◎三 沢 君 夫 ○中 畑 龍 二 代々木 和 男 戸 田 裕 也
(8) プ ロ グ ラ ム 委 員 会 ◎横 井 好 明 渡 辺 宏 未 土 志 田 猛 名 倉 健 二
(9) ロ ー タ リ ー 情 報 委 員 会 ◎中 林 靖 ○②内 野 晃 ③代々木 和 男 好 井 良 雄
(10) 広 報 委 員 会 ◎城 田 昭 次 ○八 木 節 夫 長 瀬 正 作
- B. 社会奉仕委員会 (担当理事)◎幸 内 伸 雄 ○飯 田 重 雄 小 林 敬
青 少 年 (担当理事)◎渡 辺 宏 未 ○森 善 助 横 井 好 明
(1) インターアクト委員会 ◎赤 柄 忠 昭 ○鷗 川 昇 中 林 靖
(2) ローターアクト委員会 ◎斉 藤 宏 一 ○二 宮 浩 日 高 信 良 富 永 力
○島 田 幸 夫
- C. 職業奉仕委員会 (担当理事)(◎岩 岡 正) ◎飯塚 金次郎
- D. 国際奉仕委員会 (担当理事)◎高 嶋 経 保 ○山 下 栄 蔵
(1) 世界社会奉仕委員会 ◎上 林 正 勝 (○真 野 滋 夫) 小 林 敬
(2) ローター財団委員会 ◎内 野 晃 ○高 嶋 経 保 三 橋 英 一 小 林 安 雄 金 子 朝 夫
(3) 米山奨学委員会 ◎富 永 力 ○戸 田 裕 也 (和 田 功)
(4) ポリオプラス委員会 ◎近 藤 襄 ○二 宮 浩 島 田 幸 夫

備 品 目 録

品 名	数 量	品 名	数 量
ロータリーの鐘とハンマー	1	卓上名札	23
国 旗	1	テーブル・クロス	21
ク ラ ブ 旗	1	コーヒー・セット	40
認 証 状	1	マホー・ビン	10
スマイル・ボックス	1	R財団寄附率証明書	1
グッド・ウィル・ボックス	1	茶 棚	1
レクチャー・アンプ	1	シュガー・ポット	6
テープ・レコーダー	1	ナブキン立て	6
レコード・プレーヤー	1	調味料入れセット	6
レコード（ロータリー・ソング）		クラブ小旗（さお共）	10
ワイヤレス・マイク	3	ク ラ ブ 印（角）	1
会員個人別ボックス	2	クラブ会計印	1
書 庫	2	書 類 棚（W90×H180）	2
バナー掛（各クラブのバナー共）	2	冷 蔵 庫	1
バナー立て	13	スマイル・レポート入れ	12
タ ス キ	11	スイス・カウベル	1
パ ネ ル	19	漆谷RCから点鐘台（大邱松林RC）	1
写 真 機	1	” 記念楯	1
黒 板	1	RICOPY FT 4060	1
アクリル名札板	1		

充 填 ・ 未 充 填 職 業 分 類 表

正 会 員 (ACTIVE)

平成元年6月30日 現在

関 連	職 業 分 類		会 員 名	勤 務 先	役 員 名
	内 科	医 分 類			
医 術	内 科	Physician			
	循 環 器 科	Circulatory	上 林 正 勝	横浜北中央病	理事長兼院長
	外 科	Surgeon			
	小 児 科	Pediatrist			
	産 婦 人 科	Obstetrician and Gynecologist	近 藤 襄	近藤病院	院 長
	歯 科	Dentist	島 田 幸 夫	島田歯科医院	院 長
	口 腔 外 科	Oral Cavity Surgeon			
	整 形 外 科	Orthopedic Surgeon	二 官 浩	二宮整形外科	院 長
	病 院	Hospital			
	高 等 学 校	Senior High School			
教 育	幼 稚 園	Kindergarten			
	私 塾	Private School			
	弁 護 士	Lawyer			
ビジネスサービス	税 理 士	Tax Service			
	経 営 相 談	Business Counseling Service			
	司 法 書 士	Judiciary Scribner Service			
	行 政 書 士	Government Administration Service	(和 田 功	和田会計事務所	所 長)
	仏 教	Buddhism			
宗 教	神 道	Shintoism			

6/29選会

関連	職業分類		会員名	勤務先	役職名
	機械	種類			
機械及び装置	建設機械	Construction Machinery			
	履帯	Caterpillar			
金属加工業	板金工作	Sheet Metal Working			
	金型製造	Molds Mfg			
自動車工業	自動車販売	Automobile Dealers			
	自動車修理	Automobile Repairing	小林 敬	(株)ブラザーモーター	代表取締役
電気及び電子工業	電気工事	Electric Construction			
	電気器具製造	Electric Appliance Mfg			
技術	測	Land Surveying			
	物理療法	Physical Therapeutics	加藤 勇夫	加藤接骨医	院 長
プラスチック工業	ビニール高周波加工	Vinyl High Frequency Processing			
	金型製造	Mold Mfg			
印刷及び出版	書籍販売	Book Dist			
	石油製品	Refined Oil Products	松田 税正 (岩岡商事(株))	不動燃料工業(株) 岩岡商事(株)	代表取締役社長 代表取締役
鉱油工業	ガソリン販売	Gasolin Dist	城田 昭次	(株)城田石油	代表取締役
	銃器及び火薬	Fire Arms			
通信事業	電話事業	Telephone Service	高橋 義弘	N.T.T.中山電報電話局	局 長
	情報通信	Information	横井 好明	横井通信工業(株)	代表取締役
建設業	建築請負業	General Contracting	渡辺 宏未	(株)渡辺工務店	代表取締役
	建築設計	Architect	寺崎 誠三	(有)寺崎工務店	代表取締役
木造建築	木造建築	Wooden Building Construction	小杉 隆	太陽建設(株)	代表取締役

5/10入会
1/18退会

職 業 分 類		会 員 名	勤 務 先	役 職 名
関 連	分 類			
建設業	ビル建築	金子 朝 夫	工藤建設㈱	常務取締役
	土木工事			
	舗装工事	飯 塚 金次郎	宇路建設㈱	代表取締役
	建築材料			
建築材料資材	アスファルト製品			
	生コン配布	幸 内 伸 雄	日建輸送㈱	代表取締役
	設備工事	(速 藤 真 作	㈱速藤製作所	社 長
	室内装飾用品			
家具及び室内装飾	不動産業	土志田 猛	㈱岩本不動産商会	代表取締役
	ビル賃貸	(矢 島 誠 治	㈱矢島ビルディング	取 締 役
	貸スタディオ			
	土地賃貸	斎 藤 宏 一	斎藤興業開発㈱	取締役社長
輸送	貨物自動車輸送			
	旅行斡旋	赤 柄 忠 昭	サン東総業㈱	専務取締役
衣料	綿製品	(真 野 滋 夫	㈱トーカーイ	専務取締役
	農業及び園芸			
畜産	飼料			
	獣 医	中 畑 龍 二	中畑動物病院	院 長
林業	木材販売	小 林 新 一	小林建設林産㈱	代表取締役
	酒 精 飲 料			
食品	食品輸出入			
	Food Importing & Exporting			

4/10シニア

9/17シニア

1/18退会

関連	職業業分		種類	会員名	勤務先	役職名
	職	業分				
金融	都市銀行	City Banking		飯田三郎	三井銀行青葉台支店	支店長
	地方銀行	Local Banking		佐藤英治	横浜銀行中山支店	支店長
	外国為替銀行	Foreign Exchange Banking				
	信用金庫	Credit Banking		八木節夫	八千代信用金庫長津田支店	支店長
	広告業	Advertisement				
印刷及び広告	印刷	Printing		飯田重雄	飯田印刷(株)	代表取締役
	看板広告	Advertising Service		高嶋経保	横浜標識(株)	代表取締役
	活版印刷	Letterpress		田中克己	日本ビジネス・フォーム(株)	代表取締役
	理容	Barber				
	美容院	Beauty Shop		(中)村彰宏	(有)中村アルモニー	代表取締役
ホテル	料理店(和食)	Restaurant (Japanese Style)		日高信良	(有)オータス(浜太郎)	代表取締役
	ホテル	Hotels				

10/5/会

12/28選会

シニア・アクティブ会員 (SENIOR ACTIVE)

元 職 業 分 類		会 員 名	勤 務 先	役 職 名
ビニール高周波加工	Vinyl High Frequency Processing	富 永 力	富永高周波工業㈱	代表取締役
板 金 工 作	Sheet Metal Working	小 林 安 雄	㈱小富士産業	取締役社長
高 等 学 校	Senior High School	鶴 川 昇	桐蔭学園	
履 帯	Caterpillar	名 倉 健 二	㈱東京リンク製作所	相 談 役
タ ク シ ー 業	Toxicab Service	長 瀬 正 作	細島交通㈱	取 締 役
室内装飾用品	Upholstering	(古 谷 英太郎	㈱ペイメント・アート	代表取締役)
不動産賃貸	Real Estate Renting	森 善 助		
食品材料配布	Foods Material Distributing	田 沼 文 衛	グリーン食品㈱	相 談 役
ボーリング場	Bowling	三 澤 君 夫	三澤合資会社	代 表 者
鉄鋼建築業	Iron Building Industry	好 井 良 雄	㈱好井鉄工所	代表取締役
銃 器	Fire Arms	岡 本 健	ミロク機械㈱	代表取締役
建設機械	Construction Machinery	山 下 栄 蔵	山下工業㈱	取締役社長
土木工事	Public Works	三 橋 英 一	三橋建設㈱	取締役社長
外科医	Surgeon	内 野 晃	内野医院	院 長
病院	Hospital	戸 田 裕 也	長津田厚生総合病院	院 長
電気器具製造	Electric Appliance Mfg	藪 島 五 郎	横浜北工業会	専 務 理 事
建築材料	Building Material	代々木 和 男	㈱代々木商店	取締役社長
アスファルト製品	Asphalt Products	中 林 靖	日本舗材㈱	取締役会長

12/28退会

開 放 7 3 充 填 2 8
未 充 填 4 5

シニアアクティブ会員 1 9 (職業分類充填なし)

